

EXAMPLE

水素吸入の事例



目次



事例1

血液改善

事例9

副鼻腔炎

事例2

慢性COPD

事例10

腎臓病

事例3

糖尿病

事例11

変形性膝関節症

事例4

肺癌

事例12

便秘

事例5

肺気胸、肺水腫

事例13

コレステロール値

事例6

網膜浮腫

事例14

低血圧症

事例7

コロナ後遺症

事例15

甲状腺腫れ

事例8

肺腺がん

事例16

乾癬

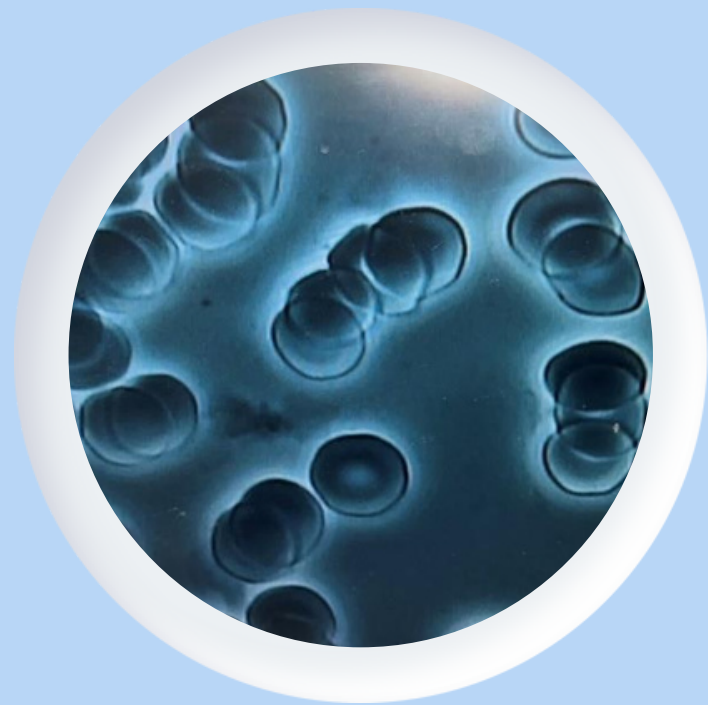
事例17

卵巣がん

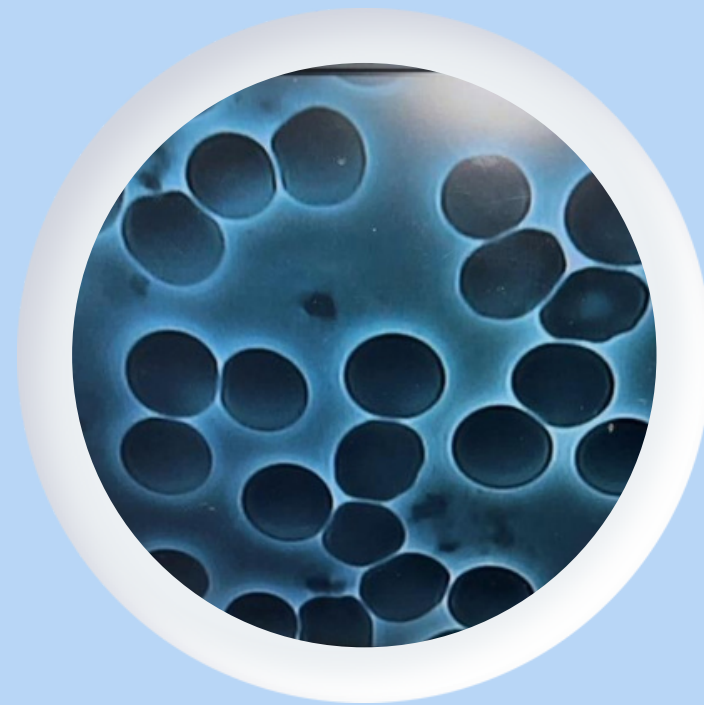
目次



血液改善



吸入前



吸入後

水素&酸素 同時吸入 30分吸入後

血液を暗視野顕微鏡で水素吸入の 吸入前
吸入後 を観察。

赤血球 が連結していない 血液が健康状態
に近い“サラサラ状態”に変化しています。

慢性 COPD 60代 男性

慢性 COPD とは

慢性気管支炎や肺気腫 と呼ばれてきた病気の総称だそうです。

最大の原因は、喫煙 だそうです。

水素吸入 2000ml/分 1年以上吸入していた

水素吸入 4800ml/分 に 切り替え。

痰の絡み 軽減、呼吸がさらに楽になる。

MAKE MEDICAL

網膜浮腫

81歳 女性



網膜浮腫とは

網膜の静脈が詰まって閉塞している状態です。

それにより血液やその成分があふれて眼球の奥にある眼底の出血、網膜中央にある黄斑にむくみを生じるなどを起こします。詰まってしまった血管は元に戻せないため、早期に発見して適切な治療を受けることが重要です。

症状には視力低下、視野の欠け、目のかすみ、ものがゆがんで見える変視症などがあります。黄斑は特に見る上で最も重要な部分ですから、ここに障害が起こると視力に大きな影響を及ぼします。放置してしまうと網膜の酸素や栄養素の不足を補うために新生血管を作り始めますが、この新生血管はとてももろく、血液やその成分が漏れる範囲が広がっていき、硝子体出血や網膜剥離、血管新生緑内障など失明につながる可能性がある病気を合併する可能性があります。

水素吸入2000ml/分 週2回吸入していた。

市民病院で検査、網膜浮腫 悪化、手術予約。

水素吸入4800ml/分 週2回吸入後

手術日に病院で手術前検査後、
ほとんど浮腫消滅。手術不要に



糖尿病 50 年来の糖尿病患者さん

他社製水素吸入器 水素発生量 2000ml/分

糖尿病数値変化なし

水素吸入 4800ml/分

吸入後HbA1c 値 (ヘモグロビン A1c)

8.3 ⇒ 7.9

50 年来初めての数値で、本人もびっくり。

MAKE MEDICAL

肺癌

67歳 男性

水素吸入 200ml/分 毎日していたが
肺癌に7cm腫瘍。

抗ガン剤治療退院後

水素吸入4800ml/分

1か月後、再検査 7cm腫瘍消滅

MAKE MEDICAL

肺気胸 肺水腫

90 歳 おばあ様

水素吸入4800ml/分

週 4, 5 回 30 分吸入

1 か月後 肺気胸、肺水腫 完治

コロナ後遺症

水素吸入 2400ml/分

吸入 1 時間 3 から 4 日間 解消後 ぶり返しあり

水素吸入 4800ml/分

吸入 1 時間

後遺症消滅

MAKE MEDICAL

肺腺がん

60 歳 男性

肺腺がんステージ 4、脳に転移あり。

抗がん剤治療前に

水素吸入4800ml/分を毎日 5～6 時間吸入

その後、抗がん剤治療。ガンは縮小。

その後も毎日、MEGA4800（水素発生量 4800ml/分）を

毎日 5～6 時間吸入脳に転移したガンは、消滅。

医者がびっくりするほどの、自己免疫向上だそうです。

健常者と同じ数値まで回復。

水素吸入がなくてはならない存在とのこと。

現在は、とても元気だそうです。



MAKE MEDICAL

副鼻腔炎

50代 男性

副鼻腔炎とは

副鼻腔炎（蓄膿症）は、風邪かぜのウイルスや細菌、アレルギーなどにより、副鼻腔の粘膜に炎症が起こることによって発症します。風邪（ウイルスや細菌感染）やアレルギーなどがきっかけで鼻の中で炎症が起きると、鼻の粘膜が腫はれたり、ドロドロした鼻水が出てきたりします。この腫れや鼻水によって、副鼻腔と鼻の間にある通り道（自然口）がふさがると、副鼻腔から分泌物や異物を排泄できなくなり、鼻水や膿がたまってしまいます。こうして起こるのが副鼻腔炎（蓄膿症）です。



11月初旬、頭痛がして、頭がボヤける等の症状で病院受診。

1月に10日間入院の手術が必要との診断。水素吸入で良くなればとご来店。

1週間で3回、 水素吸入4800ml/分

その翌週には、 週2回、そしてまた、週1回 と 来店が減少…

週に1回 と遠ざかるので、効果見られなかったのかと思いきや…1回の吸入で効果実感。

1週間で、ほぼ症状消滅したそうです。

それで 結果、来店回数が減ったそうです。

1 2月末に 1月の手術前の検診に病院で診察。

医者が首を傾げながら、こんな事は考えられないけど……

何故か良くなってるので、手術の必要は無いですとの事。

何故か良くなってるので、手術の必要は無いですとの事。

腎臓病

85歳 女性



もうすぐ透析をしなければならない状態の方
クレアチンの数字が徐々に悪くなっていた。

約 10 日間毎日 1 時間吸入

何ヶ月ぶりにクレアチンの数値が 30 ほど減少。

お医者さんからもなにかした？って聞かれたそうです。

MAKE MEDICAL

変形性膝関節症 49歳 女性

変形性膝関節症 とは

膝の関節部分の軟骨がすり減ることによる膝の痛みが発生する病気です。

高気圧ルームと整体をするも、なかなか動き始めの膝の痛みが取れず。

1ヶ月間の中に、週2、3回水素ガスを1時間吸入。

いつの間にか膝の痛みが解消。

MAKE MEDICAL

便秘

50代 女性

水素ガス吸った日は、とても便通が良い！とのこと。多くの方が、同様に体験をされています。



コレステロール値 48歳 男性

コレステロールの値が 165

医師さんから、3ヶ月前から薬の服用を勧められていた。

1か月ほど、毎日1時間吸入し、病院で検査。

コレステロール値 正常値範囲の 138 に

医師から薬服用不要と診断。

低血圧症 66歳 女性

低血圧症とは

血圧が低いことがそのまま病的な状態であるとはかぎらないので、低血圧の基準も高血圧の基準ほどは重要視されておらず、臨床医によって意見の違いもあります。現在、WHOでは世界共通の基準として、収縮期血圧100（mmHg）以下、拡張期血圧60（mmHg）以下を低血圧としています。低血圧は原則として治療の必要はないとされますが、低血圧が疾患として問題になるのは、血圧の低下により各臓器へ送られる血液量が減少し、種々の自覚症状や臓器の機能障害が発現した場合になります。

10年ぐらい前から最大血圧値 90~100 と低血圧症 で悩んでいた。1ヶ月間、ほぼ毎日1時間水素ガスを吸入。

血圧 120 前後に！ 低血圧解消。



甲状腺腫れ 74歳 女性

甲状腺とは

ヨードを原料に「甲状腺ホルモン」という新陳代謝を活発にする、ヒトの生存に不可欠な物質を作っています。甲状腺の働きは、頭蓋底にある「下垂体」から分泌される甲状腺刺激ホルモン（TSH）により繊細に調整されています。

びまん性甲状腺腫（甲状腺全体が腫れるもの）に該当します。

自己免疫疾患のひとつでバセドウ病、橋本病 等があります。

MAKE MEDICAL

甲状腺が腫れていて

副甲状腺ホルモン値「whole-PTH」値

550 から 600

かなり高い数値

「whole-PTH」の基準値は「9~39pg/mL」

吸入開始から約 2 週間 毎日 1 日 1~3 時間吸入

117 に激減。

乾癬

60代 男性

乾癬とは

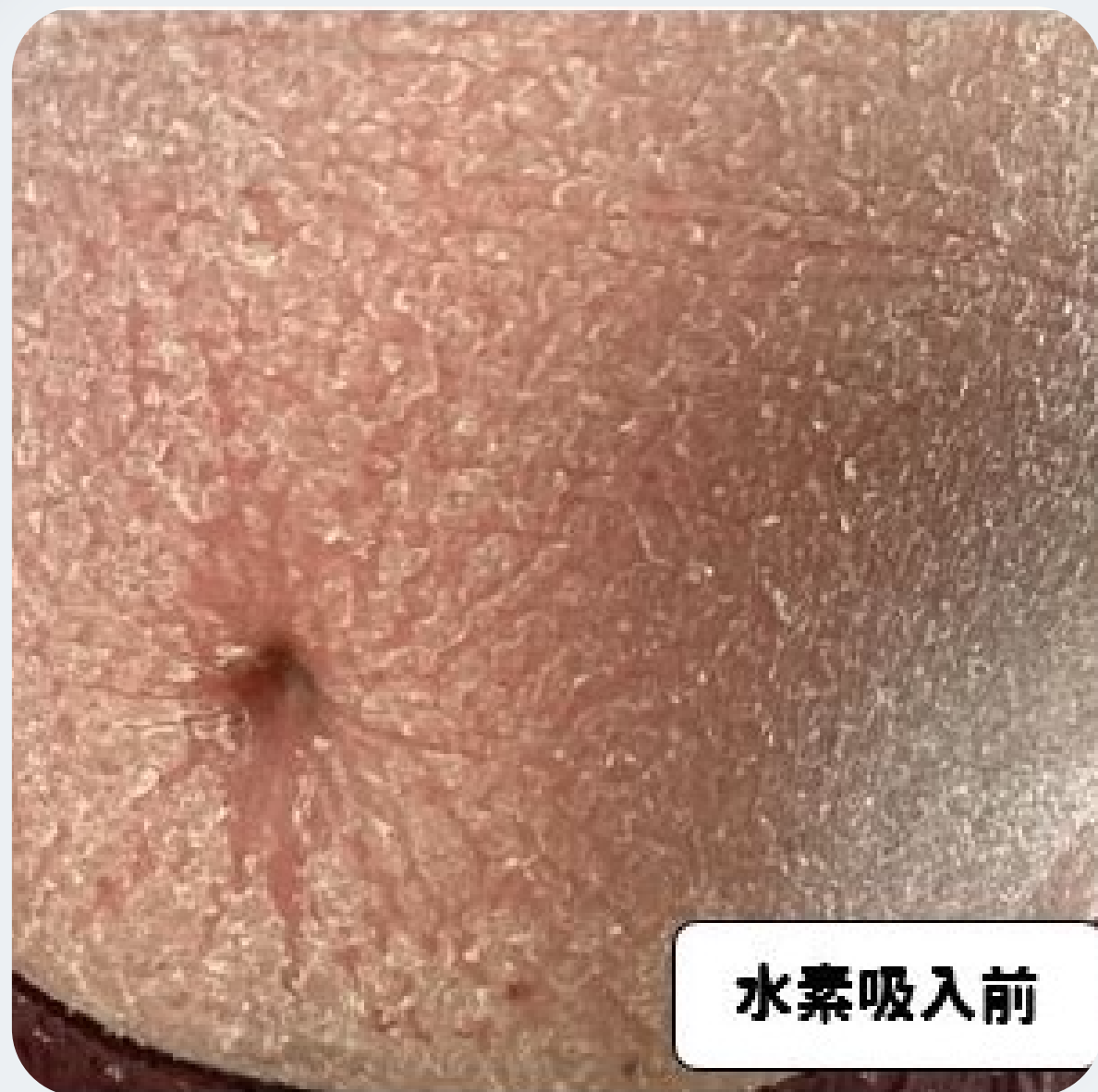
銀白色の鱗屑（皮膚の粉）をともない境界明瞭な盛り上がった紅斑が全身に出ます（図1、図2）。乾癬の患者さんの90%位がこの症状です（尋常性乾癬と呼びます）。大きさ、数、形は様々で、発疹が癒合して大きな病変を作ることもあります。できやすい部位は慢性の機械的な刺激を受けやすい頭部、肘・膝、臀部、下腿伸側などです（Q6参照）。青壮年期に発症することが多く、多発しますが、通常、内臓を侵すことはありません。

水素吸入1200ml/分 約2か月間

他社さんの 水素風呂（カタログ値2000ppb） と併用利用とのこと。

身体内部 との両面からのアプローチ ですね。

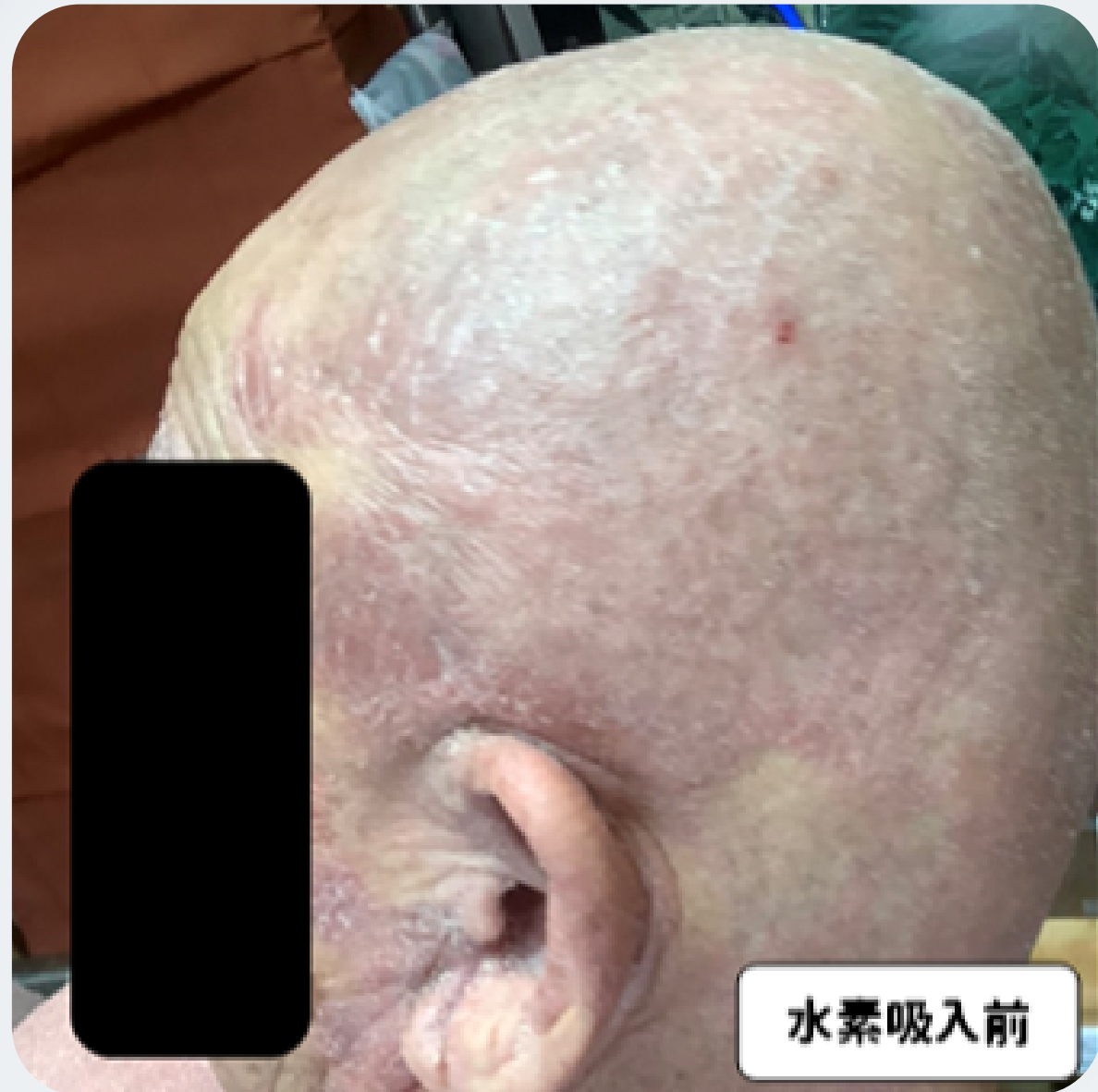
水素吸入前と水素吸入後の写真です。



水素吸入前



水素吸入後



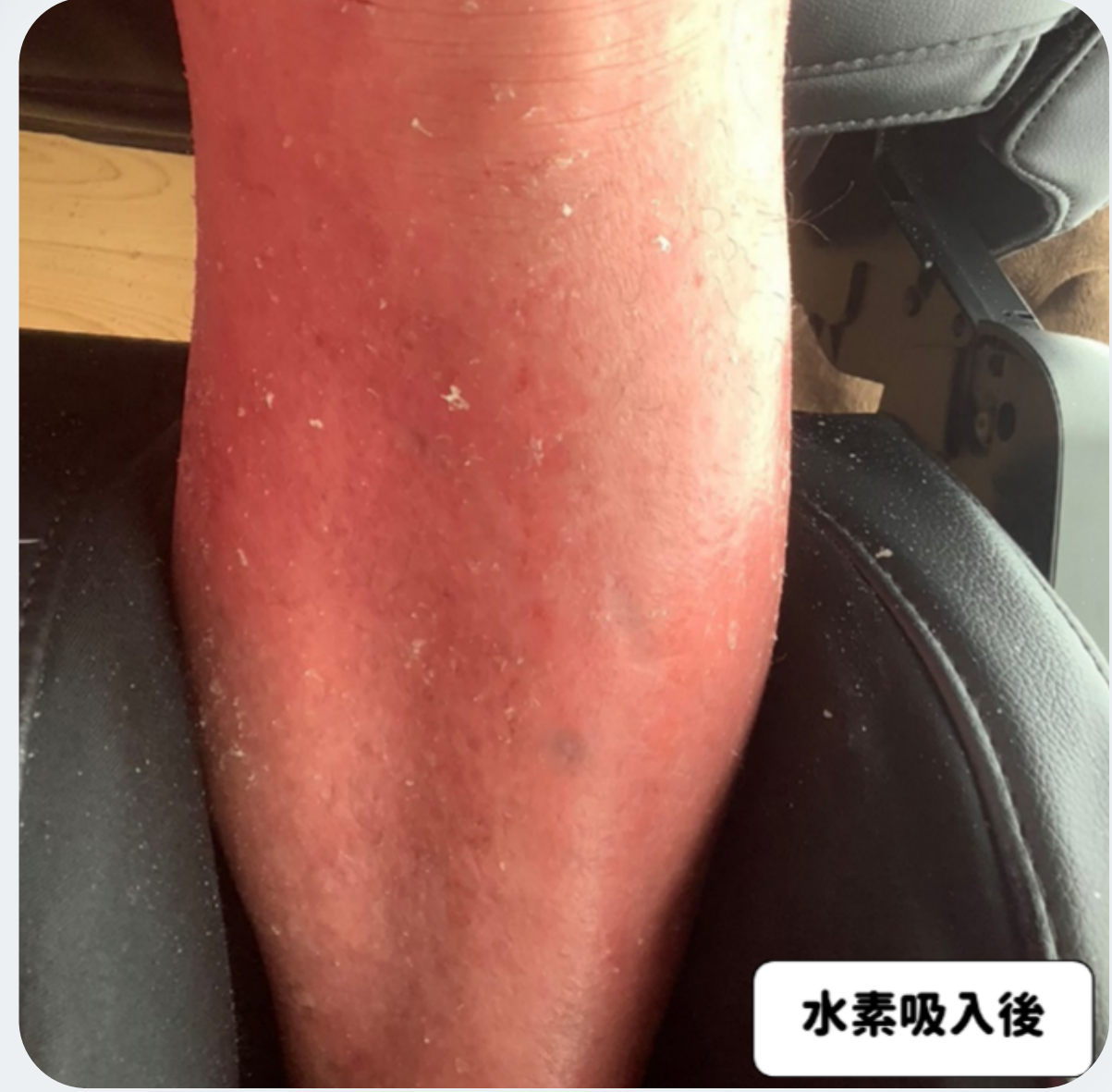
水素吸入前



水素吸入後



水素吸入前



水素吸入後

MAKE MEDICAL

約2か月で 大幅に改善。



卵巣ガン

50代 女性

ステージ4 腫瘍4cm

胸水 併発

水素吸入 4200ml/分 毎日5時間吸入。

抗がん剤の副作用が軽減。

想像していたよりもかなり軽いそうです。

再検査後

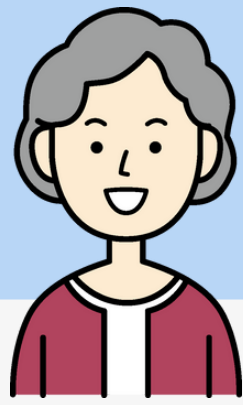
胸水 治癒

腫瘍4cm → 2cm 半分に縮小。

腫瘍マーカー CA125

3000台 ⇒ 60代 に 大幅に低下

MAKE MEDICAL



お客様からのメッセージ

卵巣は「沈黙の臓器」と呼ばれる臓器のひとつで、卵巣癌が発見された時はかなり進行してる状態の人が多いそうです。私もそのケースで、お腹の張りが酷くなって病院に駆け込み癌と判明しました。その時点で卵巣から腫瘍がお腹に転移していて腹水が溜まっていたのです。緊急入院で3ℓ腹水を抜いたものの、入院中お腹全体は熱を帯びており、恐怖を覚えるほど。すぐに抗がん剤投与を開始。退院時もお腹の張りは強く、医師からは「お腹全体に腫瘍が点在している状態で、数も多く手術はできない状態。今後は腫瘍の減り方によって手術が可能になる。」と言われました。退院後は毎日懸命に水素ガスを吸入。2週間後かなりお腹の張りが減り、うつ伏せ寝もできるようになっていました。通院治療もしながらの2ヶ月で腫瘍の数が手術ができるまでに減っています。これまでの間、体がどんどん楽になり自分が癌患者である事を忘れる程でした。このように水素吸入の効果は大いに体感していたものの、検査で出た数値からも、まさに副作用のない抗がん剤である水素ガスの効果を経験しました。



レンタル等ご質問、お問合せは
LINE公式アカウント

<https://lin.ee/r6uAZQDi>



LINE公式アカウント

LINE_QRコード

ホームページ：<https://make-medical.com>

メールアドレス：info@make-medical.com

MAKE MEDICAL 株式会社

〒166-0012

東京都杉並区和田3-31-12

カスタマーサービス 03-6824-4399